千葉市平和公園遺跡MAP

園内には、多数の遺跡等があり、
「平和公園遺跡群」とされています。

※点線部分の平和公園内の遺跡群は、発掘調査が完了した部分は、林等に戻すとともに墓地等にも活用されており、遺跡そのものはご覧いただけません。

PICK UP 1 内野古墳群

内野古墳群は北側に都川を望む台地上にあり、前方後円墳1基と円墳5基が現存していますが、もとは消滅した円墳2基を加えた8基以上からなる古墳群であったと推定されます。これらの古墳は、木戸作遺跡やうならすず遺跡などの周辺にあった村々に住んでいた人々のリーダーの墓と考えられます。昭和50年度に実施した4号墳の発掘調査により、組合式箱型石棺(古墳時代後期の常総地方の特徴の一つ)が発見されました。また、　古墳群の東端、都川に面した場所にあり、この中で最も有力な首長の墓と推定できる前方後円墳の形が、6世紀後半の関東地方に流行するスタイルであること(前方部が張り出した形をしている)などから、関東地方で最も群集墳が多く作られた時期、6世紀末から7世紀の前半ごろの古墳群であると推定されます。

PICK UP 2 多部田貝塚

多部田貝塚は、都川中流域左岸の大草、落井付近から南に分岐する多部田支谷の東岸に位置し、標高約42mの台地上に立地しています。貝層部は南西部に開口した馬蹄(ばてい)形(上から見ると馬の蹄鉄のような形をしている)で、直径約140mの大きな貝塚です。海岸線から離れた内陸部では数少ない大型貝塚です。昭和29年の発掘調査では、土器の口縁部(縁の部分)を再利用した炉や、その周囲に焼いた破砕キサゴを敷きつめた加曽利B式の住居跡か発見されました。遺物は縄文時代後期の加曽利B式・安行式の土器を中心に、石器、骨角器類も出土しました。また、平成10・11年度の調査では、住居跡や土坑がみつかり、遺物は昭和29年の調査と同様の成果をえました。

地域DATA 特別史跡 加曽利貝塚

加曽利貝塚は、日本最大級の規模を誇る縄文時代の集落跡です。遺跡全体を自由に散策することができ、貝層の断面を観察できる施設などもあります。
平和公園から車で約20分。先人たちが残してくれた千葉市の誇りを是非ご覧ください。

加曽利貝塚PR大使「かそりーぬ」

加曽利貝塚へのお問合せ
【加曽利貝塚博物館】住所:千葉市若葉区桜木8丁目33番1号 電話:043-231-0129